

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		小児病態学研究		榎 日出夫
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
(1) 小児疾患の病態を科学的に仮説を立てて立証する。 (2) 小児の特殊性（発達と発育）を理解する。				
授業到達目標				
(1) 小児の特殊性を理解し、小児疾患の病態や診療の疑問点を抽出できる。 (2) 最新のエビデンスの集積ができる。 (3) エビデンスの評価ができる。 (4) 統計方法の意味を理解し、各群の必要症例数が分かる。 (5) 臨床試験において倫理的な配慮ができる。 (6) 臨床データを解析し、評価できる。 (7) 最新の分子生化学的手法などを駆使して解析できる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	14:00-15:30	加藤 敦	小児における全身管理と集中治療について
毎週	火	9:30-11:00	栄徳 隆裕	発生学からみた先天性心疾患と、その血行動態
毎週	火	14:00-15:30	大石 智洋	感染症の分子生物学診断に関する基礎科学的事項の理解から実際の手技の習得について
毎週	水	14:00-15:30	榎 日出夫	発達障害特性論
毎週	水	15:30-17:00	榎 日出夫	けいれん性疾患の初期対応と集中管理について
毎週	木	10:00-11:30	田中 孝明	渡航医学, 予防接種について
毎週	木	15:00-16:30	大石 智洋	院内感染の傾向と対策について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック				
(1) 1週間ごとの実験内容報告に対して、形式的に指導と助言を行う。 (2) 中間発表の抄録作成時に指導と助言を行う。				
教科書				
ISBN-999612018X, Nelson textbook of pediatrics, [edited by] Robert M. Kliegman ... [et al.], Elsevier, 2020 ISBN-9784521742601, 予防接種コンシェルジュ：現場で役立つワクチン接種の実践法, 中野貴司(編集), 中山書店, 2015 ISBN-9784260036252, 新生児学入門 (第5版), 仁志田博司, 医学書院, 2018				
参考書				
ISBN-9780323482554, Mandell, Douglas, and Bennett's principles and practice of infectious diseases <2 volume set> (9th Edition), John E. Bennett, et al., Elsevier, 2019 ISBN-9780323376921, Feigin and Cherry's textbook of pediatric infectious diseases, [edited by] James D. Cherry ... [et al.], Elsevier, 2019 ISBN-9784307170741, ワクチンと予防接種のすべて (第3版), 尾内一信 他, 金原出版, 2019 ISBN-9784784944736, まるわかりワクチン Q&A：予防接種の現場で困らない (第3版), 中野貴司編著, 日本医事新報社, 2021 ISBN-9780321762436, Molecular biology of the gene, 7th ed., James D. Watson ... [et al.], Pearson, 2014 ISBN-9781936113422, Molecular cloning : a laboratory manual, 4th ed., Michael R. Green, Joseph Sambrook, Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2012				
準備学習（予習・復習等）				
(1) 実験前に、教科書・参考書等を読み、約1時間程度の予習を行う。 (2) 毎週、履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。 (3) 実験終了後、その日のうちにデータを記録し、提出する。				

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- (1) 関連する課題を探求し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習熟する。
- (2) 卓越した研究成果をあげ、小児科学の深い学識を獲得する。
- (3) 学術研究が国民からの信頼、負託に応えるものであることを理解し、高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ

大学院生として、小児科学の勉強、実験に熱心に取り組んで下さい。